

行事予定表	
1	日
2	月
3	火
4	水
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月

桜が、チューリップが、藤が、あつという間に散って、もう紫陽花が花芽をふくらませた。冬を亡くし、春を楽しむ間もなく一気に真夏日になり、日本は美しい四季を失くした。時代が、社会が、自然までも、先を急いでいるように感じるのは私だけだろうか。

子ども達と山野を駆け、木陰に憩い、青空にゆったりと流れる雲、青空に機体をきらめかせ飛んでいく旅客機。どこに向かっているのかと思いを馳せる。こども達に、のんびり、ゆったり、心豊かな生活をさせたい。

今月の予定から・・・

- 尿検査キット回収日（4日）
 - ・必ず4日の朝、ご家庭で尿の採取をし、9時までの提出をお願いします。
- 交通安全教室PM（5日）
 - ・5歳児のみの参加となります。梅雨時期にちなんで、雨の日の注意や傘の使い方を教えて頂きます。



- ピヨピヨひろば（10日）
 - ・地域の子育て支援「ピヨピヨひろば」として、月1回設定保育を実施しています。園開放も行っていますので育休中の方もどうぞ遊びに来て下さい。
- おいしいなおはなし会（11日）
 - ・市の健康づくり推進課の方が来園をして5歳児に食の大切さを伝えて下さいます。
- カレーの日（12日）
 - ・みんな大好きカレーの日！かまどの様子や出来上がるまでの匂いなど子どもたちは五感で感じていきます。だいぢぐみも、自分のフルーチェを作り、ほしぐみは、野菜洗いを担います。
 - ※5歳児（ぞうグループ）の保護者の方は年に1回かまど係の見学が可能です。ご希望の方はお知らせください。
- 不審者対応訓練（17日）
 - ・もしもの際に備えて不審者対応訓練を実施致します。
- おべんとうデー（18日）
 - ・子どもたちが待ちに待っているおべんとうデーです。お子さんが好きなものと一緒に愛情もたくさん入れてあげて下さいね。※気温が上がってきました。お弁当箱の上に保冷剤（名前記入して）も必ず入れて下さい。
 - ※お弁当の中に入れない物は、要冷蔵のもの（ヨーグルト・チーズ等乳製品）、コンニャクゼリーなどです。また、ぶどう・ミニトマト・ウズラの卵等は、誤嚥窒息に危険があるので、入れるのであれば4等分に切ってください。※別途配信した資料参照。
- 内科検診（17日）・歯科検診（19日）
 - ・保育園では、年2回内科検診と歯科検診を実施しています。お子さんの体調管理の為に、検診は必ず受けるようにお願いします。詳細は、ほけんだよりをご覧ください。
- 避難訓練（25日）
 - ・毎月の避難訓練で、地震・火事等を想定して命の大切さや避難の仕方を学びます。
- 誕生会（26日）
 - ・1年に1回誕生児にとって大切な日を「おめでとう！」と心からお祝いします。※誕生児の保護者の方は誕生会の見学が可能ですので、ご希望の方は、お知らせ下さい。
- ふたばっこお楽しみ会（27日）
 - ・5歳児が夜の8時ごろまでいろいろな活動を行います。詳細は別途お手紙を配布しますので、ご確認ください。

★お知らせ★

・だいちぐみ担任の林亜弥乃（はやしあやの）ですが、5月4日（みどりの日）に入籍し、中村亜弥乃（なかむら）になりました。今後保育園では今まで通り林のままですので、どうぞよろしくお願致します。

「歩こう、歩こう、私は元気」

私は歩くことが好きだ。外出しない休日、事務所で仕事する。単に移動するだけなら、車で行った方が早いし、公道のほうが歩きやすいが、少し遠回りになるが、山林や畑の中の小道を歩いて行く。木々の芽が吹き、小さな花々、鳥のさえずり、自然の中に浸り、身も心もゆったりと解放される。歩いていると、いろいろ



ろなことが流れ、湧き出てくる。野道の中に、みごとに大樹の桜がある。誰にも見られず私一人に語りかけてくる。そして、すぐに桜吹雪になって、小道が花のジュータンになった。桜が変わって、つじが咲き、あやめ、かきつばたか。小道の中のそこ、ここに小さな野の花が。歩くことが目的でもなく、歩くことで思索が、自己を見つめ直すとかいうものではなく、ただ歩くことだけである。「無」である。

子ども達と歩くのも好きだ。特に柔らかな新緑の頃に野原を横切り、山林に分け入って歩く。子ども達と歩く時は、冒険ありの探検が楽しい。先生達も心得ていて、私が今日は園に行きますと電話すると「えっ！来てくれるんですか、じゃ、お散歩に行きましょう！」と言う。子ども達に、私が来ることを伝えると、「ヤッター！」とみんなが喜んでくれる。北竜台の園は、周囲が自然に包まれている。隣地には、広い野原が広がっていて、たくさん野の花が咲き、バッタや蝶が飛び、水溜まりには、オタマジャクシもカエルも群がっている。愛国学園や公園まで歩いて行く。困りも、フェンスもないので野原を横切り、歩く。広い野原の所有者は、「ここは私有地だから入らないでください」と無粋なことを言うが、子ども達と私は、「ハイ、ゴメンなさい」と意に介さず、歩く。

誰からともなく、自然に、「歩こう！歩こう、私は元気」と歌い始める。子ども達も解放されるのだ。自由なのだ。公道を手をつなぎ、行動を抑えられて歩く「行進」ではなく、まさに「お散歩」「探検」なのだ。野の花や野草の名前をほとんど知っている博士ちゃんもいた。わたしは、教えてもらったけれど、多すぎて、三々四種しか覚えられなかった。自然の中で自由に歩くことで、たくさんさんの体験ができる。子ども達と一緒で散歩しよう。しかし、急に暑くなり、熱中症が心配になって、散歩の機会もすくなくなっている。

理事長 浅田 精利

